度会村の人口
7月1日現在　（戸籍係調べ）
人口　10.041人
世帯　1.775世帯
出生　１６人　婚姻　２４組
死亡　８人　離婚　なし
（６月中の異動）

広報わたらい

No. １６　昭和34年8月1日発行

発行所
三重県度会郡度会村役場
TEL 内城田１・１４番
編集　広報係
印刷所　文化印刷有限会社

おねがい!!
△たばこは村内で買いましょう
△今月の納税は村民税の第二期分です。

広報板

◎国家公務員採用初級試験案内

東海・北陸七県内の官庁に勤務する初級職員の採用試験が次のとおり行われます。
❶受験資格　昭和１１年４月２日から昭和１７年４月１日までに生れた者は、学歴を問わず受験できます。
❷申込期日　８月１２日まで（郵送の場合は８月１２日までの消印のあるものに限ります）
❸申込先　名古屋市中区南外堀町・人事院名古屋地方事務所
❹申込用紙の請求　申込用紙は封筒の表に「初級申込用紙請求」と朱書し、必ず十円切手をはつた返信用封筒を同封のうえ前記申込先へ請求してください。
❺試験日　第一次……１０月４日
第二次……１１月中旬－下旬。
❻試験地　津市・松阪市
❼その他……細かいことは人事院名古屋地方事務所へ問合せてください。

◎住民登録はしてありますか？

お宅はまさか住民登録からモレてはいないでしょうね。

転入や転出はもちろん、世帯の中で異動のあつたときは必らず住民登録をしてください。

せんきよのことや就学のおしらせ主食の配給やいろいろの証明など、住民登録がしてないとあなたがソンをします。

転入や転出をしたときは、１４日以内に新らしい住所地の役場へ住民登録届をして下さい。

◎オ３回水稲増収共進会案内

本年度の水稲増収共進会を次の要領で実施しますから、まだ申込みをされていない方は早目に手続きをしてください。
❶主催　度会村
❷参加資格　村内に在住するもので１人１点、１団地１品種、５畝歩以上のこと。
❸表彰　１等１点・２等５点・３等１０点

◎道路を大切にしましょう

去る７月１０日から来る９日まで全国的に「道路を守る月間」が実施されています。道路を美しく安全に管理・建設しようというのがこの運動のねらいです。道路に交通のジヤマになる材木や荷物をおいたり、道路のいたんでいるのを知りながら無理な荷を運搬することはやめましよう。

◎早期栽培を見学しましよう

水稲の早期栽培は、災害の回避、秋落ちの軽減、労力の配分など農業経営の改善に効果をあげています。村では、昭和３２年に注連指区をこのモデル地区に指定して、普及事務所とともに指導と普及につとめてきましたが、村全体の栽培面積も昭和３２年は５ヘクタール３３年は１２ヘクタール、今年は２８ヘクタールというように毎年ふえています。収量の点でも慣行栽培にくらべて成績が良好で、３割から１０割の増収をあげています。

本村には、まだ２００ヘクタールも早期栽培の適地がありますが、積極的にこの方法をとり入れて経営の合理化をはかりたいものです。

そろそろ収穫期ですから、先進地を実地に見聞して、来年の計画に備えてください。

見学の時期は、今月の上、中旬がよいでしよう。

早期栽培で成績をあげている人
注連指－東谷金太郎・前田任美
大野木－山下才之助・日向－伊藤義雄・柳－杉本光郎・脇出－高橋進

みんなが選んだ26代表

村議選の投票率は90パーセント

地方選挙最後の、村会議員選挙の投票は、七月八日に行われました。当日の投票率は男は九十一パーセント、女は八十九パーセントで平均が九十パーセントで身近かな選挙らしい出足しの良さでした。

また、開票は同日午後八時から本庁で行われましたが、集つた人々が、緊張してながめる速報板の得票も、追いつ抜かれつの接戦をくりひろげ、ようやく午後十一時すぎ、二十六人の代表が決まりました。

その後、議会は、七月二十日に初会議をひらき、議長、副議長などの役員を決め新らしい村づくりを目指して一歩踏み出しました。

新議員のみなさん〔議席順〕

写真の下は住所、年令を示す

1 内田春生

葛原（47）

2 山北亥平

平生（47）

3 坂谷豊松

牧戸（58）

4 山下茂雄

柳（36）

5 早川重三郎

立岡（59）

6 亀田徳夫

麻加江（51）

7 大西松之助

棚橋（54）

8 奥本竹夫

小川（35）

9 北村敬二

長原（36）

10 山根勝次

田口（34）

11 神森芳太郎

脇出（56）

12 中村信一郎

棚橋（49）

13 大久保清七

川口（55）

14 北村利三

上久具（56）

15 荻田庄一郎

栗原（39）

16 岡野源衛

小萩（38）

17 福井一郎

大野木（50）

18 岡山彦二

日向（40）

19 浜岡曽次郎

南中村（61）

20 東谷甚太郎

注連指（51）

21 西村要蔵

大野木（60）

22 田村孫市

茶屋広（47）

23 西岡熊雄

和井野（52）

24 杉本光郎

柳（43）

25 山本安一

駒ケ野（47）

26 中嶋一男

麻加江（47）

公民館言

みんなで幸福を考えよう

太田館長

幸福と申しましても、人によって考え方がちがうでしょうが夫婦仲よく、親との折り合いもうまくゆき、必要な衣食住にこと足り、丈夫な子供が二、三人あつたら一応幸福といえないことはないと思います。

でも、なかなか思うように行かないのが、おおかたの人達の悩みではないでしょうか。

では、どうしたらよいでしょうかと問われたら、ほかに方法がないというわけではありませんが、私は先ず「考える生活」を提案します。そうしたら即座にこういわれるでしょう。「そんな事なら、あなたからいわれなくてもよく承知しているが、今日に追まわされる私にはそんな力もひまもありませんよ」とその通りです。私もずいぶん貧乏の経験がありますからよくわかります。しかし、そういっていてはいつまでたっても私達の暮らしは楽しく豊かにはなりますまい。

幸福は、らくをしていて、人様からロハでもらえるものでもそこらあたりに落ちているものでもありません。自分の努力と工夫でものにするもの、自分で創造するものだと思います。

いや、それができるくらいなら何も問題はありませんよ、と申されましょう。しかし、それはやり方次第です。あなた一人ではできないかも知れません。同じように思っている人が集まって話しあい考えるつたら如何でしょう。その仲間も二人より三人、三人より七人と、みんなの知恵を出しあって「一人は万人のために、万人は一人のために」と話しあい工夫しあって実行したら、それがきっかけになって、つぎつぎにむずかしい問題も解決できるようになると思います。

たとえば、たとえばですよ、鶏か兎を二羽飼って、それを二十羽に増やし豚一頭にし、これを肥やして、つがいの子豚二頭にし子を取って、だんだんふやし、これを乳牛にかえて、またふやす。乳牛三頭飼っておればその収入は田一ヘクタール（一町歩）より多いとのことですがこれも、もとは鶏か兎二羽からです。もちろんいうように簡単には行かないでしょうしいろいろな苦労もありましょうが……それはわかるが飼料をどうする？そこが仲間同志の共同研究の必要なところです。一人の考えには限度があります「三人寄れば文殊の知恵」です。たとえばあぜ道や土手や原野にラジノクロバーを植えるとか、つる取り甘藷園を設けるとか、思案や方法や技術は追々と考え出されてくることでしょう。餌も少ない費用で太らす、生ます、出さす、ということも共同研究すればだんだんわかって来るというものです。これはほんの一例ですが教養を高めることや、経営のことや、生活の合理化や、保健衛生、体育レクリエーションについても、やり方はにたりよったりです。それでもうまく行かないなら、そのやり方のどこかに間違いがあるはずです。その間違いの点をみんなでつきとめ、これをテーマに話しあってください。実行、記録、反省、評価で成功するまでつづけます。その間、助言したりそのすじの経験者を紹介したりつれてきたりする世話役が公民館主事の仕事です。気楽に館長や主事、分館長に御相談ください。

「まんざら役立たないこともない」ということを知るでしょう。

村会議員選挙開票結果

浜岡曽次郎	二五七票	南中村
北村利三	二五六票	上久具
早川重三郎	二四六票	立岡
山根勝次	二四〇票	田口
岡山彦二	二三八票	日向
坂谷豊松	二三七票	牧戸
東谷甚太郎	二三五票	注連指
中村信一郎	二二八票	棚橋
大西松之助	二二六票	棚橋
西岡熊雄	二二四票	和井野
西村要蔵	二二四票	大野木
福井一郎	二二三票	大野木
北村敬二	二二一票	長原
山北亥平	二〇七票	平生
神森芳太郎	一九八票	脇出
大久保清七	一七七票	川口
中嶋一男	一七七票	麻加江
荻田庄一郎	一七五票	栗原
亀田徳夫	一七四票	麻加江
田村孫市	一七四票	鮠川
内田春生	一六八票	葛原
山下茂雄	一五五票	柳
岡野源衛	一四五票	小萩
奥本武夫	一四四票	小川
山本安一	一三七票	駒ケ野
杉本光郎	一三五票	柳

めやす箱

住所氏名明記・紙上匿名自由
役場広報係あて

▲新議員にのぞむ

この間の村議選挙は、立候補者が案外少なく、それに辞退者が相ついだために投票前には、無投票になるのではなかろうかと心配されました。しかし、結局、選挙が行われ、村民にとっても候補者にとっても幸いであったと思います。みなさんの当選をおよろこびするとともに私は次のことを要望します。

○これまでのように村の本当の在り方が村会議員だけしか知らないというのでは困ったことです。いろんな機会に村会の状況など一般に発表してください。

○村政の状況は良い面ばかりではなく悪い面も知らせていただきたい。

○村有林の立木の処分は止むを得ませんが、土地は絶対処分しないようにして下さい。

○村議会が中心になって、地区根性の排除と村民の和をはかっていただきたい。

（愛村子）

なごやかに発足した村議会

正副議長・常任委員など選出

選挙後初の村議会協議会は、七月二十日午前九時半から、全議員が出席してなごやかに行われました。

まず福井村長からあいさつがなされ、そのあと最年長者の浜岡曽次郎氏が臨時議長となつて、議長の選出に移りました。

選出方法は、まず推薦委員を選んで候補者を選考、本会議にはかり北村利三氏が議長に選ばれました。このあと抽せんによつて議席を決め、議長選出と同じ方法で副議長に浜岡曽次郎氏を選び、各常任委員もそれぞれ次のとおり決定しました。（●が委員長、〇が副委員長）

〔総務〕●亀田徳天〇早川重三郎・北村敬二・山北亥平・狄田庄一郎・山本安一・浜岡曽次郎・杉本光郎

〔農林〕●福井一郎〇大久保満七・山根勝次・内田春生・岡野源衛・北村利三

〔土木〕●奥本竹夫〇西岡房雄・中嶋一男・中村信一郎・田村孫市・西村要蔵・山下茂雄

〔厚生〕●神保芳太郎〇東谷甚太郎・大西松之助・坂谷嘉松・岡山彦二

〔出納検査立会人〕西村要蔵・杉本光郎

村三役も決る
助役に北村佐太郎氏　収入役は伊藤氏が再任

村長から任期満了まで、ぜひ協力してほしいと再三にわたり懇望したにもかかわらず、辞意が固く任期を待たず辞職されて欠員になつていた助役、収入役の選任について、村長は二十日の協議会で、「一之瀬地区は財産区問題が解決していないのでなるべく避けてほしい」という条件をつけて、村議会に人選を依頼したが、村議会は協議の結果、助役は中川地区、収入役は小川郷地区から選ぶことに話がまとまりました。

そこで村長は、人選は関係地区議員の良識を信じてまかせますから、自分にふさわしい信頼できる人を選んでほしいと要望し、ついて開かれた二十三日の本会議で助役には前議長の北村佐太郎氏、収入役には前収入役の伊藤正三氏が承認され、同日付で就任されました。

―第3回臨時会できまつたこと―

▲議案第二十九号　度会村議会議長の選挙について

▲議案第三十号　度会村議会副議長の選挙について

▲議案第三十一号　村議会常任委員長、副委員長、委員の選任について

▲議案第三十二号　出納立会人の互選について

▲議案第三十三号　橋名の変更について……栗原地内の本郷橋は近く完工しますが、この議決によつて「栗原橋」に改称されました。

▲議案特第一号　助役の選任について

▲議案特第二号　収入役の選任について

▲議案特第三号　教育委員の選任について……高橋多兵衛氏と八木楠夫氏が辞職されて二名欠員になつているので、その後任に市場の森下啓二氏と麻加江の森本喜一氏が選任されました。

その他の協議決定した事項

❶村有バスの売却を議決　六月二十日の村議会で問題になつて、新議会ができるまで処分保留になつていたが、あらためて、この議会にはかり処分することを決定、その代りとして村内の連絡や広報、急救車にも利用できるダットサンを購入することを決めました。

❷議員の任期について　議員の任期をくりあげて、次期の村会議員の選挙は村長選挙と一諸に実施する申合せをしてはどうかと亀田議員から動議が出され、全員賛成で次期の村会議員選挙は、村長選挙と同時に実施する申合せを決めました。

質疑も活溌に
初の区長総会ひらく

七月十六日、本庁会議室で新村になつてはじめての区長総会が行われました。当日、欠席は二部落だけというよい出席ぶりで午前十時半から午後四時まで五時間にわたり熱心に協議されました。

会議は、まず村長から就任のあいさつと地財法による財政再建など村政への協力依頼がなされ、つづいて各係主任から提出事項の説明と依頼がなされました。

…主なる協議事項

❶役場機構の改革…別表のとおりです。

❷村税の滞納整理について

❸道路を守る月間について

❹国民健康保険法の改正について

❺公民館分館長の推薦について

❻蚕業組合の結成について…南志摩農業事務所、広瀬氏から、その促進について説明と依頼がなされました。

❼区長代表の選任について…互選の結果、次の方々が選任されました。

★度会村区長会代表＝山本宮生（平生）〇一之瀬地区代表＝門野茂吉（脇出）〇小川郷地区代表＝奥野都蔵〇内城田地区代表＝山本宮生（平生）〇中川地区代表＝中井丈吉（子花）

◇区長会の質疑応答から◇

問　地財法による再建計画は六カ年になつているが、もつと短期間にできないか。

答　再建計画の年限は、国が示す算出方法で六カ年ということになつていますが、その間、財政が許せばそれより早く借入金を返済することができます。

問　区長と役場の連絡をよくするために各旧村に支所をおいてほしい。

答　支所の設置は国の方針に逆行することであり、条例で廃止されているので置くことはできませんが連絡所は置くことができますので何とか考えたい。いまて、第一連絡所をテストケースとし、戸籍、印鑑証明、配給事務を取扱つているので、これがよいという見込みがつけば他にも設置したい。

問　納税成績のよい部落、とくに四ケ年の成績について彰を考えてほしい。賞品は、品物よりも現金の方がよい。

答　よく検討して実施したい。

簡素になつた役場機構
各係の主任を任命

役場の事務は、昨年四月から一年余の長い間、茶業会館で取扱つて来ましたが、このほど全部の係が新庁舎にうつり明るい環境の中で事務をとつています。

また、役場機構も新村長の方針で次のとおり改められ、これまでの秘書室、企画室、出納室などが廃止となつたほか、各係に主任をおいて責任分担が明らかにされました。

▲総務一　【企画、財政、条例、規則、広報、新村建設】（主任）西川楠蔵、亀田達、山中清久、西岡傚天

【公有財産登記】山本良三

▲総務二　【人事、議会、消防、選挙、外人登録、庶務一般】（主任）条谷十郎、橋本敬、久保清一、鎌家良子

【戸籍】徳田徳応、河村憲二、西村十吉

▲経済土木　【土木、営繕】（主任）山北光郎、番常明、山根晋巳、鳥羽幸三郎

【勧業、統計、配給】井戸本田一（兼）高橋幸吉、前田年弘、中野喜代造

▲民生　【保健衛生、厚生、国保、保育所、診療所】（主任）畑中松之助、山下次男、大西藤生、西村康、坂井勝、坂本たみゑ、水小田紀子

▲税務　【調定、課税、徴収】（主任）佐野得準、山本一三、竹田秀業、岡村義行、浦田征夫

▲会計　【金銭出納、徴収】（主任）中村正、藤田東作、山本裕子

【物品出納】登春次郎

▲教育委員会　【学校教育、社会教育、公民館】（教育長）中森良太郎、太田与三五郎、高橋良三、竹内傚天

▲農業委員会　（主事）井戸本田一、高橋幸吉（兼）

▲第一連絡所　北畠弘毅

▲土地改良区　大野幸成

初代理事長に　福井、定氏
度会村土地改良区

七月十五日、度会村土地改良区は第一回総代会を開催したが、役員を次のとおり選びました。また十六日には、理事会をひらいて互選の結果、初代理事長に福井ゝ定氏が選ばれました。

【度会村土地改良区役員】

理事長＝福井ゝ定、理事、鵜手辻郎、佐藤元教、石井孝、中森乙吉、奥本正八、中野徳三郎、西村歓吉、監事＝森本一郎、吉田二三良

農作物の管理　〔8月〕

◎水　稲

❶土用干と水のかけひき

7月末からやつている土用干は、8月始めに終るようにします。7月まで湛元状態になつていた田の水を止めて2…3日間、足跡のつかぬ程度に干します。急激に干して白くしたり亀裂の出来るのは禁物です。水田に酸素を入れて、酸化型に戻すので稲の立根のはりがよくなり、硫化水素の害も幾分抑えられ今まで効かなかつた養分も吸収されるようになり無効分けつを抑え倒伏を防ぐ効果があります。土用干が終つて、稲が幼穂形成期から穂孕期および出穂期にかけては、最も水を必要とする時期となります。年によつては旱害を受けやすい時期ですから、特に水を切らさないようにしてください。

❷穂肥は稲の姿を見てから

穂肥は幼穂形成期の初期つまり出穂の二十五日前頃に施すのが正しいやり方です。地力のある田や元肥や追肥で窒素肥料を十分施した田でイモチ病発生の危険がある田は穂肥を見分してください。施用量はその田の条件によつて異るので草出来を見て決めるべきですが、多くても10アール当り硫安7、5キログラム（2貫）以内にしてください。加里も少量加えるのもよいでしよう。

❸紋枯病の防除は穂孕期に

7月から8月にかけて紋枯病が発生します。防除を怠ると実りを悪くしたり茎折れができて減収します。出穂までに1、2回モンゼツト粉剤または乳剤を撒布してください。

❹穂首イモチ病の防除

穂首イモチ病の危険のある田では出穂前と穂揃期の2回必ず水銀粉剤を撒布してください。

❺早期栽培稲の刈取

早期栽培の稲は、今月末になると刈り取りが始まります。出穂後30…35日が刈取適期とみてよいでしよう。1穂を手にとつて、籾の9割が黄金色に変り下部の遅れ籾2…3粒が緑色を保つている頃がよく茎葉は緑色をしていますが、籾の色をみて刈取期を判定します。刈り遅れると胴割米が多くなるから注意してください。

●蔬　菜　類

白菜及大根の播種

秋蔬菜の播付けは白菜から始まります。今月の15、6日頃から20日頃までに播きます。夏作物があつて播けない場合は、礫床で育苗します。白菜につづいて大根の播付ですが、貯蔵用にするものは、今月末か9月に入つてから播きます。

◎茶

病害虫の防除を怠らぬよう

これから秋にかけて、炭そ病が増えてきますから、6、3式ボルドー液を散布してください。

ハマキムシ・ウンカの防除も前月と同じ方法で防除してください。

（農業改良普及所）

まちがいをおこさぬこと
＼農薬使用の心得／

水稲の病害虫防除に毒性薬剤を使用される場合は、次のことについて十分注意してください。

❶人体に危害を及ぼさないように　毒性の農薬は、わずか吸い込んだだけでも頭痛や目まい、下痢などを起しますし、幼児の場合は、空ビンをなめただけで死んだ実例もありますから、「毒物」「劇薬」と記された空ビンや空袋は、必ず土中ふかく埋めてください。また特定毒物を使用する場合は、届けでることになつていますので、事前に役場か普及所に相談して指示をうけてください。

❷蚕、家畜には特に注意のこと

八月、九月には、夏秋蚕が飼育されますから、蚕室や桑園の近くで薬剤（特に粉剤）を使用する場合は、その持主に連絡して、承諾をうけてください。特に蚕は、農薬に弱いので、肉眼では見えない程度の少量でも死ぬことがあります。つぎに畦草は、農薬を撒布する前に刈り取るか、撒布後十日から十五日位の期間は、家畜に食べさせないようにしてください。

農薬名	体重六十キロ当り致死量
（特）エチルパラチオン	〇・五グラム
（特）メチルパラチオン	一・九グラム
TEPP	〇・一グラム
EPN	一・四グラム
ダイアジノン	三・六グラム
ディプレックス	九・三グラム
マラソン	一一・一グラム
BHC	七・五グラム

備考（特）は特定毒物です。

（農業共済組合）

★歓　迎

（国民皆泳週間　8'29～9'4）

「東京オリンピツクの老人組に出ようと思つてね」

総合で一之瀬支団が優勝
度会村青年団体育大会

度会村青年団体育大会は、去る七月十九日午前十時から内城田中学校において、太田館長の激励と開会のあいさつにつづいて、岡山団長が力強く宣誓し、若人の美と力の祭典をくりひろげました。

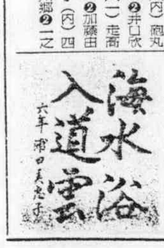
そして、各種目に青年らしい情熱をたたかわせましたが、総合成績で一位の一之瀬支団に晴れの真紅の優勝旗が贈られました。

各種目の入賞者は次のとおり

【総合】優勝＝一之瀬支団、二位＝小川郷支団、三位＝内城田支団

【男子】一〇〇米＝❶山下定一（一）❷前出任美（中）❸奥野可頌（小）二〇〇米＝❶奥野可頌（小）❷岡村隆生（内）❸中田清彦（小）四〇〇米＝❶中田清彦（小）❷森本泰弘（中）❸高橋堂之（一）八〇〇米＝❶北村利明（内）❷亀田栄一（中）❸山下稔（一）一、五〇〇米＝❶山下稔（一）❷世古幸久（中）❸長谷川信夫（一）五、〇〇〇米＝西村義生（内）❷世古幸久（中）❸桜田昌三（中）走高跳＝❶浜岡房一（一）❷古森隆（小）❸北村利明（内）三段跳＝❶岡谷昌行（小）❷作野順一（一）❸井出公（一）砲丸投＝❶中井正美（中）❷中条郁行（内）❸中井広美（中）走巾跳＝❶井出公（一）❷岡野喜三右衛門（一）❸八木武夫（小）八〇〇米リレー＝❶内城田❷小川郷❸一之瀬

【女子】六〇米＝❶井戸本良子（内）❷清水久子（内）❸鈴木八千代（小）一〇〇米＝❶中野文子（小）❷浅井米子（一）❸山本きぬ子（内）二〇〇米＝❶中野千代子（小）❷山下きぬ子（内）❸山本照子（小）走巾跳＝❶中野千代子（一）❷山下律子（一）❸清水久子（内）砲丸投＝❶東谷睦子（中）❷井口欣子（一）❸浅井米子（一）走高跳＝❶御村祥子（一）❷加藤田哉（小）❸井戸本良子（内）四〇〇米リレー＝❶小川郷❷一之瀬❸内城田



私の作文

住みやすくなつた私のぶらく

小川郷小学校　六年　奥野　一子

私の住んでいる栗河内は、よく世間の人々から「あな」だと呼ばれて、私たちはいつもかた身のせまい思いをして来ましたが、ここ二、三年前からだんだん新しい文化がとり入れられ、住みやすくなつて来ました。

一昨年は公民館が、昨年は神度会館というりつぱな館が村の人々の力によつて造られました。ぶらくの集会があればいつも公民館が利用され、私たち学生にとつても公民館は二つとないよい集会場となつています。また青年さんらも夜のふけるのも忘れて楽しく遊び婦人会の方たちも自宅でくつろぐより気らくそうに寄り集まつて話し合つているようすをたびたび見かけます。

この間の村会議員の選挙のときのことでした。内城田から選挙運動にこられたある一人の奥さんが「えらいとこやなあ、こんなところにおつたら、自動車も通らんし映画などはとても見られんやろなあ。」と言つているのを私は耳にしました。

もうとうくにせん伝自動車なんかは出入りしていますし、トラックや三輪なんかは毎日のように入つてきます。私達のぶらくが材木や木炭、割木の主な産地だからです。

映画もぶらくの人々の楽しみとして一月に一回または二回ほどあります。私の家では一回に二百円出して家内中見に出かけます。よその家も皆家をからにして、一日のつかれを忘れて、心ゆくまで見るのを第一の楽しみにしています。昔の人は「住めば都」とよく言いますが、「あな」といわれた私達のぶらくも今では度会村のどのぶらくにも負けない住みよいぶらくにかわつてきたことを大変うれしく思います。